

平成26年度決算特別委員会において、危機管理室に対し



1. 防災啓発について

■質問/吉田健吾

災害が起こった後の検証をする際、生死や安否に大きく左右しているのは、「自己決定力」であると感じさせられる。「自己決定力の向上」という基本理念と「防災の日常化」という観点、この2つは、改めて重要な考え方であると思う。

「くらしの防災ガイド」や「土砂災害わが家の避難マップ」などは、活用されてはじめて、自己決定力の向上に繋がっていく。こうしたツールは、家族ぐるみで活用し、事前準備に役立ててもらいたいと言われていたが、実際にどれだけの家庭で活用されているか、配布後の活用実態について伺いたい。

■答弁/危機管理監・理事

「神戸市ネットモニター」を通じて、具体的には、土砂災害についての日頃からの備えについての認識や取り組み状況などを尋ねることを考えている。

■要望/吉田健吾

出前トークなどを活用し積極的に取り組んでもらいたい。

2. 避難対策の強化について

■質問/吉田健吾

避難勧告に対する行動であるが、避難所へ避難する以外にも、安全な親族や友人宅への避難、また自宅内であっても2階以上の山と反対側の部屋への避難などがあると認識している。しかし、7月の台風11号の新聞には避難勧告の11万人に対し272人しか避難所へ避難しなかったと、避難勧告が「避難所への避難」とだけとらえたような報道があった。避難勧告を受けてもどうすればいいのか分からないとの声が多くあがっていた。市民が避難準備情報や避難勧告等の意味合いを十分に理解して行動していたのか検証が必要ではないか。

■答弁/危機管理監・理事

避難行動について防災福祉コミュニティへの聞き取り調査を実施し、その結果を踏まえ、防災心理学の有識者から意見をいただいた。「くらしの防災ガイド」や「わが家の避難マップ」の作成配布、地域での説明や訓練等を通じて、適切な避難行動等について啓発を進めており、新しい考え方が浸透するまでには反復して訓練や周知が必要であると考えているので、今後とも地道に取り組みを進めてまいります。

3. 自衛隊との連携について

■質問/吉田健吾

先日の豪雨被害のような大規模災害において、自治体・消防・警察・自衛隊の連携は欠かせないと感じた。市民に災害時の連携を日頃から意識してもらうため、市民参加型の防災訓練に際しては、消防だけでなく自衛隊にも参加してもらうことが一層の防災意識の向上につながると考えられる。各区の総合防災訓練において、自衛隊にも参加してもらい、合同で訓練を実施していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

■答弁/危機管理室長

平成26年度及び27年度の市総合防災訓練においても、自衛隊に参加していただき、相互に連携を確認している。区単位の総合防災訓練では自衛隊に参加していただけないのが現状であるが、今後市の防災訓練、県・近畿府県合同実施訓練などあらゆる機会をとらえ、検討していきたい。

■要望/吉田健吾

垂水区と神戸市が取り組んだ訓練では、大規模な訓練ができたとのことを踏まえ、例えば各区持ち回りで神戸市の訓練を実施してほしい。最低限住民参加の訓練を区ごとに開催していただきたい。

4. 地域の安全安心について

■質問/吉田健吾

今までの犯罪者の人格から犯罪の発生要因を考える犯罪原因論に代わり、昨今、犯罪が発生した環境から発生要因を考える犯罪機会論という考え方が取り入れられるようになった。犯罪機会論では、地域における安全安心を守るためには、犯罪が起こりにくい環境の整備が不可欠となる。

犯罪抑制に防犯カメラは効果的だが、設置が進んでいる地域もあれば、そうでない地域もある。過去の犯罪発生場所と防犯カメラの設置を照らし合わせるなど、必要と思われる地域に対しては、設置の働きかけをしていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

■答弁/危機管理監・理事

当面、地域の要望をできるだけお聞きしながら、未整備の地域での設置を促進し、市内全体にカメラの設置が広がっていくよう対応していきたい。

■要望/吉田健吾

設置状況を的確に捉えていって、地図上に落とし込むなどといった対応を必ずしていただきたい。また、その後の取り組みとして、地域コミュニティのあり方を検討される中で、地域と協働で取り組むことが重要だと思うが、それができない地域もあるということを確認していただきたいので、要望とさせていただきます。

5. 自転車の安全啓発について

■質問/吉田健吾

最近では電動アシスト自転車も発展し、坂の多い街である

局別審査を行いました。

神戸でも、自転車を気軽に利用される方が増えたと感じている。その反面、死亡事故の発生や子どもが加害者となってしまふような事故も起きている。6月から改正道路交通法が施行されたが、まだまだ交通ルールやマナーが遵守されているとは言い難い状況である。ルールやマナーの周知徹底等更なる啓発が必要であると考えているが見解を伺いたい。

■答弁/危機管理室長

本市の交通安全教育については、四季の交通安全運動を通じた、駅前や集客地におけるキャンペーンなどの啓発活動を警察と連携しながら全市的に展開しているところである。新たに自転車安全適正利用の啓発チラシを作成し、市立全ての学校園や各民生委員にも配布しており、他にも市内コンビニや神戸市薬剤師会に加盟している薬局においても設置を依頼していく。

6. サミット開催にあたってのテロ対策について

■質問/吉田健吾

神戸市においては、国際コンベンションやスポーツの国際大会誘致に積極的に取り組んでおり、来年9月11日、12日にはG7保健大臣会合が開催され、2019年にはラグビーワールドカップ、2021年には関西ワールドマスターズゲームの試合が開催されることが決定している。テロ対策について警察や関係各局と連携し、より一層力を入れるべきと考えているが見解を伺いたい。

■答弁/危機管理監・理事

前警察庁長官の米田様にこの4月から危機管理の顧問に就任していただき、全般的なご助言をいただくこととした。来年9月には「G7保健大臣会合」が神戸で開催されるが、他にも市民が集まるイベントや国際会議などが多数開催されていることから、テロへの対策に万全を期す必要がある。訓練や危機管理戦略研究会などを通じて、引き続き関係機関との連携を十分に図りながら、テロ対策に取り組んでいく。

■要望/吉田健吾

G7保健大臣会合まであと1年を切り、このような大規模な国際的会合には相当な警備が予想される。市民の生活に影響するのは仕方がないことだが、渋滞や規制の情報提供などを出来る限り行い、市民の日常生活も守っていただきたい。



自由民主党神戸市議員団 意見表明(抜粋)

平成26年度神戸市各会計決算及び関連議案を、理由及び要望を付して、認定並びに承認しました。

理由

平成26年度神戸市一般会計決算は、企業業績の改善に伴う法人市民税の増や、行財政改革による財政の健全化により、財源対策によることなく4年連続の実質収支の黒字を計上したこと、また、財政健全化指標でも政令指定都市の中位以上になるなど、着実に改善されていることを高く評価し決算を認定いたします。

一方で、税制改正など国の制度変更の影響や、少子超高齢社会の進展に伴う財政需要の増など厳しい財政運営を強いられることも予想されることから、引き続き行財政改革に取り組まれるとともに、輝ける未来創造都市の実現に向けて神戸がより一層飛躍するように積極的な施策展開を期待いたします。

要望事項(抜粋)

- 将来予測される厳しい財政運営に対応できるよう、引き続き行財政改革に取り組まれること。
- 来年のG7神戸保健大臣会合を機に、神戸の医療産業都市を世界に発信すること。
- 関西を訪れる外国人観光客が、神戸に立ち寄るための方策を講じること。
- 障害児施策の課題を整理し、関係者間で支援のあり方を議論できる検討会を設置すること。
- 地域の小中学校において、医療的ケアが必要な子どもたちを受け入れる体制を構築すること。
- 神戸っ子のびのびひろば等の児童放課後施策については、学習支援への取り組みも含めて関係各局が連携をして、スピード感を持って取り組むこと。
- 市民の信頼を失墜させた給食事業については、昼食事業在り方検討会を開催し、実施方法を含めて再議論すること。
- まちづくり専門職を配置し、弱体化している地域コミュニティの再生ならびに活性化を図ること。
- 阪神高速5号湾岸線西伸部の早期着工に向けて取り組むとともに、暫定的な渋滞緩和策としてハーバーハイウェイの活用を図ること。 他



神戸市会のホームページで、本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。本会議中継については、スマホ・タブレットでもご覧いただけます。

神戸市会

神戸市会議員 灘区
吉田健吾

視察報告

1 文教子ども委員会 行政調査 8月31日～9月2日

東京都では子どもに関する施設を中心に視察をしました。子ども未来創造館やおもちゃ図書館など、大人でも童心に返ってワクワクできるような施設に感動しました。



豊島区にて
アートカルチャー都市構想について



豊島区新庁舎にて



荒川区にて
子どもの貧困対策について



足立区子ども未来創造館を見学①



足立区子ども未来創造館を見学②



富山県にて、
中学校部活動の充実と
DV被害者対策について

2 自由民主党 管外調査 11月4日～11月6日



富山市ではLRT(軽量軌道交通)を視察しましたが、百聞は一見にしかずという通り、見識を深めることができました。また、東京では将来的な観光施策の鍵となる民泊の導入可能性を見出すことができました。



富山県立近代美術館にて、
ポスターリエンサーレについて①



富山県立近代美術館にて、
ポスターリエンサーレについて②



内閣府にて、民泊条例について



富山市にて、LRTについて①



富山市にて、LRTについて②



習志野市にて、障害者の
情報保障に関する条例について



子育てがしやすく、安心して暮らせる街へ。

吉田健吾プロフィール●昭和57年5月26日神戸市灘区生まれ●都幼稚園～灘小学校～鷹匠中学校～神戸高校～神戸大学発達科学部(在学中は野球部で活躍)～日本生命保険相互会社～家業である株式会社ユーアイ入社～盛山正仁衆議院議員の秘書として、主に国会で政治の現場を勉強する。●平成27年4月神戸市会議員選挙初当選 ●家族/妻・長男●所属団体/都賀財産区管理会、都賀だんじり保存会、神戸楽生会、灘納税協会青年部会、神戸青年会議所

吉田健吾事務所 〒657-0051 神戸市灘区八幡町2-8-7-4F(阪急「六甲駅」南徒歩3分) TEL078-846-0233

灘区からGo!
吉田健吾
ホームページ
yoshidakengo.jp

